

ひび割れ補修

発生したひび割れのメカニズムを解明し、適切な処置を施すことにより、耐久性を高め、美観を良くし第三者の安全を確保することが重要となります。

▽ 最適な補修・工法

水の影響のあるひびわれ

- ポリウレタン樹脂注入剤
- PCCモルタル系注入剤



水の影響のないひびわれ

- エポキシ樹脂注入剤
- PCCモルタル系注入剤



➤ ポリウレタン樹脂注入 (水の影響のあるひび割れ)

クラックを補修しようとする場合、漏水がある場所や、水中にあるクラックなど、水の影響を避けることが出来ない環境の中では、使用される材質が制限されます。エポキシ樹脂はもちろん、セメント系の注入材も、水の影響の度会によっては使用できません。このような環境の中で、確実に補修するには、ポリウレタン樹脂が有効です。

クラック補修システムは、水圧のある状況でも止水の可能な発泡性ポリウレタン注入樹脂と充填用樹脂の組み合わせにより、水の影響のあるクラックを確実に補修します。また、注入用パッカーは注入材の逆流のない特許製品であり、施工効率の良い作業が行えます。

➤ PCCモルタル系注入 (水の影響のあるひびわれ・ないひび割れ)

- ・コンクリートへの有害物質の浸透を防ぎます。
- ・深部への水分の浸透を阻止します。
- ・構造物を一体化し、積載量を増やします。

➤ エポキシ樹脂注入 (水の影響のないひび割れ)

乾いた状態のひび割れ：削孔可能な場合

基本的な注入作業はクラックに対して45°の角度でパッカーをセットし、より深い位置からの充填を行います。また、構造物によっては、パッカー取り付け用の削孔が出来ないケースがあります。このような場合は貼り付け用パッカーを用います。構造物の暑さが薄い場合などは、クラックに対して90°の削孔し、セットする場合があります。

◇インパクトドリルカッター

注入剤料：エポキシベース樹脂、ポリウレタン樹脂
MAX圧力：コンクリート強度 / 3 × 10 (bar) (例：CON強度30N→100bar)

乾いた状態のひびわれ：穴が開けられない場合

◇貼付パッカー

耐久性と膨張性に富んだ補修材注入が、普遍的な充填を可能にする
注入材料：エポキシベース樹脂、ポリウレタンベース樹脂、セメントベース
Max圧力：60bar



* 当社は(株)クリテックジャパンの代理店として、ドイツSto社製品の販売及び関連工事の施工を行っています。



高幸建設株式会社

TAKAKOH CONSTRUCTION Co., Ltd.